

(11) 淡水産貝類

【改訂の概要】

・変更した種数

変更内容		種数	備考
新規追加		6	RDB2014には記載されていなかった種で新たに記載したもの
カテゴリー変更	ランク上昇	0	RDB2014と比較してランクが上昇したもの
	ランク下降	2	RDB2014と比較してランクが下降したもの
	情報不足解消	0	RDB2014では情報不足種とされていたものが、新たにランクづけされたもの
	情報不足	0	RDB2014ではランクづけされていたものが、新たに情報不足種とされたもの
	合計	2	RDB2014と比較してカテゴリーが変更されたもの
分類群変更		1	RDB2014と比較して分類群が変更されたもの
名称変更		6	RDB2014と比較して種名等の変更があったもの
削除		0	RDB2014に記載されていたもので改訂版では削除されたもの

・RDB2014では10種が掲載されていたが、今回のRDB2024では7種増えて17種となった。

・イシガイ類の新分類体系（Lopes-Lima et al.(2020)および近藤（2020））の提唱を受け、今回のレッドデータブックでは大幅な種名の見直しを行った。例として、RDB2014のカラスガイはメンカラスガイ、イシガイはタテボシガイ、マツカサガイは広域分布種と北東本州固有種の2種へとそれぞれ種名を変更した。なお、目以上の高次分類の配置については、福田（2021）に準じている。

・遺伝分析による最新の知見に基づきドブガイ属未記載種とヒガシタブネドブガイを新たに加えた他、RDB2014では種としての位置づけがやや曖昧であったマメシジミ属を3種に分けた。

・RDB2014掲載時よりも広範な分布が把握されたヨコハマシジミ、タイワンシジミとの分類に課題が多いマシジミについてはカテゴリーを準絶滅危惧へ変更した。